

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区扇橋2-24-1
施設名	まかな保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

繋がりのある保育～絵本の世界～

〈テーマの設定理由〉

乳幼児期に大切な絵本時間。たくさん絵本がある中で子ども達が大好きな「だるまさんが…」のシリーズに着目し、子ども達が絵本を通してどのような遊びに発展するか、興味関心をもつのかを探求しようと考えた為、上記のテーマに設定した。

2 活動スケジュール

- ① 9月29日 絵本を楽しむ
- ② 10月9日 だるまさんを作ろう
- ③ 11月20日 だるまさんになりきってみよう
- ④ 12月12日 「だるまさんが…」を発表しよう

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- 「だるまさんが」シリーズの大型絵本
- プロジェクター
- 画用紙
- 絵の具
- スモック
- カラーポリ袋

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

- ①大型絵本を用いてリズム感を子ども達と楽しんだ
- ②子ども達がだるまさんに興味をもち制作活動を行った
- ③だるまさんになりきる為に、自分だけの衣装作りを行った
- ④衣装を着て保護者の前で「だるまさんが…」の発表を行った

##### 〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ①日頃から読んでいることもあり、だるまさんの動きを覚えて真似をする様子が見られた。「どてっ」「びろーん」等、体全体を動かしなりきって楽しむ姿があった。
- ②目の前の絵本と同じだるまさんを作り、楽しみながら作っていた。高月齢児は自分が作った制作と絵本を見比べ「いっしょだね！」と言葉を発する子もいた。
- ③子ども達が自分でだるまさんを作り、自分で着る（なりきる）ことによって、よりだるまさんへの愛着や自分で作った衣装を着ることに喜んでいて、「みてみて、かわいいでしょ！」とお友達や職員に見せ、絵本を見ながら体を動かして楽しんだ。
- ④日頃やっているだるまさんの真似っこ遊びを保護者の前で披露したが、緊張している表情の子もいれば、いつも通り元気いっぱいのだるまさんになりきる子もいた。泣く子はおらず、緊張をしてはいたものの、やりきることが出来た。



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ①安心する保育者のもとで一緒に絵本を見ることにより、言葉のやり取りや体での表現、共感力等が養われると考えられる。1歳児クラスから読み聞かせを実施し、引き続き、音やリズムを大切にしながら言葉の獲得や興味関心に繋げていきたい。
- ②絵本と同じだるまさんを作ることに喜びを感じられたように見えた。好きな色でフィンガーペイントをして目や眉を貼っていく制作では、子ども達の主体性を大切にしながら、色を選んでもらったり、自由に顔のパーツを貼るなどして一人ひとりの“らしさ”を大事にしながら制作活動を進めることが出来た。好きな絵本だからこそ、顔のパーツを絵本と同じように貼ろうとする子もおり、成長を感じた。
- ③自分達で衣装を作り、だるまさんになりきることで、親近感が湧いたり、絵本の世界に入り込むことが出来ていたように感じる。
- ④当日まで子ども達がどのような姿になるか予想がつかなかったが、保護者の前で堂々と発表する姿を見て成長を感じた。大勢の前で緊張しつつも、泣かずに保護者の前に立てたことだけでも、大きな進歩だと感じた。また日頃から楽しんでいる絵本だからこそ、子ども達が楽しみながら披露することが出来たように感じた。